

## 青年期の自殺予防を考える

思春期・青年期にあたる高校生・大学生年代の自死率は、中高年と比しても高くはなく、特に10代においての自死率は全体の約5%程度です。しかし、先の見えない現代社会のなかで、次世代を担う高校生・大学生年代が「うつ」や「引きこもり」「アパシー傾向」など、多様な問題を抱え、生きにくさを抱えていることが少なくないのも現状ではないでしょうか。

本講座では、特に若者の自死・自死念慮にまつわる思いや背景について考えていきます。テーマは「自殺予防」ですが、自殺を“させない”ための対策というよりも、青年に自分自身の人生をいかにして生きてもらうか、死を選択する気持ちになってしまった若者に対して私たち大人はどうあるべきか、などを率直に考える時間としたいと思います。

### 話題提供者



#### 高等学校養護教諭の立場から

野口 直美 (のぐちなおみ)

旭川東栄高校養護教諭



#### 大学保健センターカウンセラーの立場から

斉藤 美香 (さいとうみか)

北海道大学保健センター講師・臨床心理士



#### 大学教員・研究者の立場から

飯田 昭人 (いいだあきひと)

北翔大学福祉心理学科准教授・臨床心理士

日時：平成 26 年 1 月 11 日 (土)

13:00～15:00

会場：北方圏学術情報センター「ポルト」  
札幌市中央区南 1 条西 22 丁目 1 番 1 号  
※地下鉄東西線「西 18 丁目」徒歩 5 分

定員 60 名



お申し込み・お問い合わせ先：北方圏学術情報センター「ポルト」  
電話：011-618-7711 ファックス：011-618-7712  
メール：iida@hokusho-u.ac.jp(北翔大学飯田宛)